

1

●教育の基礎的理解に関する科目等

[illegible]

②【必要な資質能力に関する評価】

必要な資質能力の指標		* 各期の理解度を5段階評価で記入				
項 目	詳 細	2年次 終了時	3年次 終了時	4年次		課程修了後の課題
				教育実習終了時 課題	教職実践演習 終了時	
対人関係能力 教員は、よいリーダーシップをとって協力的な雰囲気をつくり、みんなに開かれたコミュニケーションを促し、温かい交流のできる場を作る。	自分の感情や行動に自覚的である					
	自分の行動の人への影響を認識している					
	人の話を興味を持って聞くことができる					
	自分が人に求められる行動に対して、その意味するところを理解している					
	人との関わりを求め、コミュニケーションを持つことができる					
	人と協働し、または人々と協働できるような雰囲気を作り出すことができる					
	場に合わせた言葉、マナーやコミュニケーションの方法を使っている					
	相手に合わせて効果的なコミュニケーションをとることができる					
	集団学力(グループの中で起きる相互作用)を理解した上で、適切に行動できる					
	異なる文化・考え方を持つ人々の間のコミュニケーションについて理解した上で、適切に対応できる					
教育者としての能力 教員は、十分な教育学の知識や技術を持ち、生徒たちが自律的で責任の持てる人間に成長できるように、安全で確かな学習環境を作る。	教育学の主な理論に関する知識を持ち、必要な時に参照できる					
	生徒が自律と責任を身に付けていく環境を創ることができる					
	生徒が自由に発言ができる安全な場を創ることができる					
	自分のアイデンティティや価値観が、自分自身の人に対する行動のあり方に影響していることを知っている					
	生徒のアイデンティティや価値観の発達について理解している					
	生徒たちが将来の仕事や人生の中で関わっていかねばならない社会文化を知っている					
	人間の発達が文化的に規定されていることを知っている。					
	生徒の心理社会的発達について、また同時に起こりうる問題や障害について知っている					
	生徒の起こりうる問題について指摘したり対応したりする方法を知っている					
	多様な教育実践を知っており、またそれらが文化的に規定されていることを知っている					
教科の知識や教育方法を活用する力 教員は、教科の内容に関する十分な知識と教育方法に関する多彩な技術を持ち、生徒たちが学ぶための効果的な学習環境を作る。	教科の内容、カリキュラムや教育方法に関して十分な知識や技術を持っている					
	生徒に与える課題、演習、テストを間違えることなくできる					
	生徒たちが過去に何をどのような方法で学習してきたか、そしてそれを自分の教育内容と方法にどうつなげていけばよいか知っている					
	生徒たちの言語習得、言語運用能力が学習に与える影響を知っており、実践の場でどう考慮していくかを分かっている					
	生徒の様々な学習活動のねらいが何を目標にしているのか明確に説明できる					
	生徒の将来の職業や日々の生活において、学習内容がいかに大切であるか説明できる					
	多様な教授学習理論や、進路に応じた教育のアレンジの仕方を知っており、それらを実践的に繋げている					
	生徒たちの学習の仕方、学習に対するニーズを知っていて、それにどのように対処していくかを分かっている					
	担任の学級全体と、生徒一人一人ために、効果的な学習環境を実現することができる					
	生徒たちが互いの知識を分かち合い学習し合うよう働き掛けることができる					
	生徒達にとって実践可能で、必要に応じて選択可能な、自律的な学びを促す多様な学習活動を促進することができる					
同僚と協働する能力 教員は学校を構成する多様な同僚と協働して仕事をし、コミュニティとしての学校がうまく機能するために貢献する。	教育活動の準備、実践、評価のそれぞれにおいて同僚と協力し合うことができる					
	同僚と互いに建設的な助言をしあうことができる					
	生徒の学習状況を把握しており、同僚が利用しやすいように引き継ぐことができる					
	組織化や学校運営についての知識を持っている					
	必要に応じて、同僚達に招集をかけ、協力を求めることができる					
	学校のミッションや理念や目標に合わせて行動し、学校に貢献することができる					
	会議に出席し、関係者の考えを把握し、自分の考えを表明することができる					
	同僚と協働する場で、自分の仕事のやり方や役割を適切に伝えることができる					
学校を取り巻く人々と協働する能力 教員は保護者やPTA、学校支援地域本部、学校ボランティア、実習先や進学先など学校を取り巻く多様な人たちと円滑に協働する。	保護者や地域住民などの学校を取り巻く人々に専門的な情報を伝え、また彼らからの情報を活用することができる					
	校内での学びと校外での学びが連動しあうように、コミュニティ開発を行うことができる					
	地域の人々の関与を肯定的に受けれることができる					
	生徒の最善の利益のため、関係者と連携して、対応を検討することができる					
	学校と学校が関わっている組織との協働の手続きや規定を理解している。					
	生徒の実習先、進学先、就職先と良い関係を作り、連携を維持することができる					
	学外の関係者と協働を促進するため、教員自身の意見の根拠を説明することができる					
	保護者の社会環境や生徒の文化背景についてよく理解できる					
省察と成長能力 教員は教員としての実践を理論と事実に基づいて体系的に振り返り、能力を分析し専門性を高める。	専門家としての実践の基盤となる人権について学んでいる					
	教育実践に関連する最新事情について情報を得ている					
	自分自身の能力、長所と短所についてよく知っている					
	他人からの評価やフィードバックを自己の成長に活用できる					